

④ 公開特許公報 (A) 昭62-146581

⑥ Int. Cl.<sup>4</sup> 識別記号 序内識別番号 ⑥ 公開 昭和62年(1987)6月30日  
 A 23 L 1/212 A-8615-4B  
 A 61 K 7/00 7305-4C  
 7133-4C  
 ⑥ A 61 K 35/78 6640-4C 審査請求 有 発明の数 2 (全8頁)

⑥ 発明の名称 キワイ果実水溶性抽出物及びそれを含有する化粧料又は浴用料

⑥ 特 願 昭60-289685

⑥ 出 願 昭60(1985)12月20日

⑥ 発 明 者 坪 井 誠 大田市宮町1丁目25番地  
 ⑥ 発 明 者 安 藤 裕 大田市三塚町998番地  
 ⑥ 発 明 者 松 井 達 次 岐阜市加野1667番地7号  
 ⑥ 出 願 人 一丸ファルコス株式会社 岐阜県山県郡高富町高富337番地  
 社

明 施 要

1. 発明の名称

キワイ果実水溶性抽出物及びそれを含有する化粧料又は浴用料

2. 特許請求の範囲

(1)

キワイ果実を、加温処理、水蒸気蒸留処理、0〜40℃で熱収処理、炭水酸中抽出液による抽出処理、アルコール処理の内、少なくともその一つ、又は一つ以上の処理を組合せて得られることを特徴とする、キワイ果実の水溶性抽出物。

(2)

キワイ果実を加熱処理、水蒸気蒸留処理、0〜40℃で熱収処理、炭水酸中抽出液による抽出処理、アルコール処理の内、少なくともその一つ、又は一つ以上の処理を組合せて得る、特許請求の範囲第1項記載のキワイ果実の水溶性抽出物を含有することも特徴とする、化粧料又は浴用料。

3. 発明の詳細な説明

(4) 発明の目的

本発明は、キワイ果実の有効利用に関するものである。

(産業上の利用分野)

本発明は、キワイ果実(果肉)中に含まれる成分をもとに、これを化粧料(化粧品類)；浴用料(浴用剤)をはじめ、その他、飲料、菓子類、加工食品(機能食品)など、食用として利用することがある。

(従属の技術)

(5) 視覚観察

キワイは、マナチ科に属するツル性の樹木で、落葉大の常緑(落葉に褐色の斑を有する)を付け、葉は4〜5cm幅、葉肉はミナラルグリーンの中厚葉、茸縁、酸味を呈している。

わが国の収獲期は、毎年10月末〜翌年1月頃であり、産水には少なくとも3個以上、多いものでは30個程度の果実を付ける。

キワイ果実の栽培は、近郊に産り、わが国に於いても、滋賀を例取に思われた。栽培が500m程度の山麓部を中心にして、大津、中国、京都、